

整形外科研修方略・評価

【研修目標】

一般目標 GIO :

運動器の救急疾患・外傷から慢性疾患に対応できる基本的診療能力を獲得する。

行動目標 :

1. 運動器の救急疾患・外傷から慢性疾患について病歴を記載できる。
2. 外傷に伴う全身的、局所的症状を述べることができる。
3. 神経、血管、筋腱損傷の症状を述べるができる。
4. 多発外傷の重症度を判断できる。
5. 開放骨折を診断でき、その重症度を判断できる。
6. 脊髄損傷の症状を述べるができる。
7. 創傷の洗浄、デブリドマン、縫合ができる。
8. 慢性疾患を列挙し、その自然経過、病態について述べるができる。
9. 後療法の重要性を理解できる。
10. 症例検討会で担当症例のプレゼンテーションを行うことができる。

【研修方略】

研修期間 : 1 年次 2 週間。2 年次選択。

研修内容 :

方略	SBOs	方法	人数	場所	時間	媒体	指導者・協力者
1	1~9	講義	1 人	カンファ室	適時	PC	上級医・指導医
2	1~9	実務研修	1 人	外来・病棟	適時	実物	上級医・指導医
3	10	スモールグループ討議	1 人	カンファ室	適時	PC	上級医・指導医・ 看護師

週間スケジュール :

	月	火	水	木	金
8 時 15 分	C.C.	C.C.	C.C.	C.C.	C.C.
午前	手術 (外来)	外来 (手術)	手術 (外来)	外来 (回診・手術)	手術 (外来)
午後	手術	手術	手術	手術	手術

C.C. : 症例検討会 (外来)

午前は新患外来を担当あるいは手術に参加する。外来診療では、指導医から理学所見や画像診断、治療方針などについて指導を受ける。

午後は原則として手術に参加するが、時間外救急患者の診療には可能な限り参加する。

作成必須レポート：

- 1) 高エネルギー外傷・骨折

【研修評価】

SBOs	領域	目的	方法	測定者	時期
1	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
2	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
3	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
4	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
5	解釈	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
6	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
7	技能	形成的	実地試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
8	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
9	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	方略 1,2 終了時
10	技能	技能	実地試験	上級医・指導医・ 看護師	期間中適宜